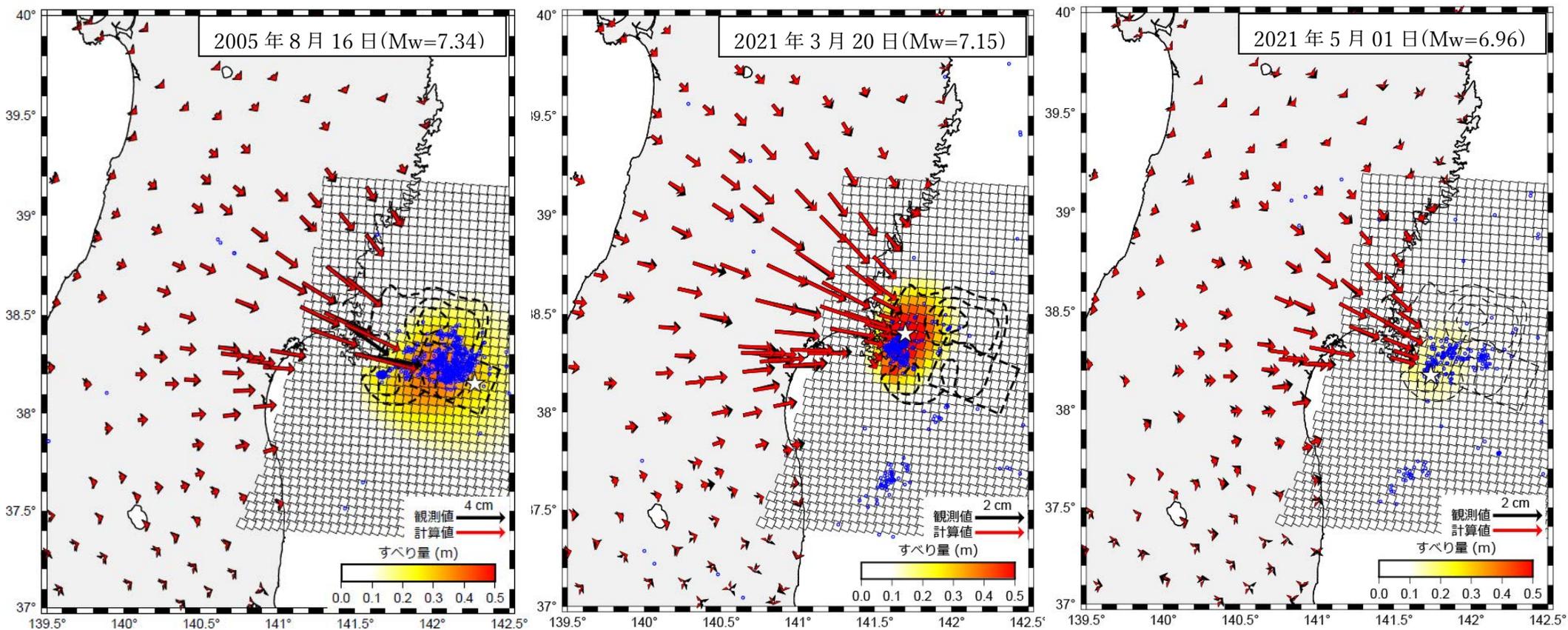


(参考) 2005年8月16日及び2021年3月20日宮城県沖の地震のすべり分布との比較



等値線は1978年宮城県沖地震のすべり分布 (Yamanaka et al. 2004)。矩形破線は2005年8月16日宮城県沖の地震の震源断層モデル (国土地理院)。
 ☆印は震央、青丸は本震発生 (5/1 10:27) から 5/1 24 時までに発生した震源を示す (気象庁一元化震源を使用)。

- ・ プレート面を 5kmx5km の小断層に分割してすべり分布を推定
- ・ プレート面は Kita et al. (2010, EPSL) 及び Nakajima and Hasegawa (2006, GRL) による
- ・ ラプラシアン平滑化を採用し、ハイパーパラメータは ABIC により決定
- ・ M_w の計算においては、剛性率を 60 GPa と仮定